



# Nagoya GRAMPUS



名古屋 グランパス ワイズメンズクラブ  
NAGOYA YMCA5-2 KAMIMAEZU2 NAKAKU  
NAGOYA 460 JAPAN

国際会長標語 Positive Commitment to Practical Action 「さあ！実行のとき」  
アジア会長標語 Friendship & Peace Forever 「友情と平和を永遠に」  
西日本区理事標語 「Positive Commitment to Practical Action 「さあ！実行のとき」」  
中部部長標語 「今こそ地域へ伸びようYワイズ」  
クラブ会長標語 「地域とともに」 広げようワイズの輪

## 1998年 12月号

### ＜今月の聖句＞

主に従う人よ、主によって喜び歌え。主を賛美することは正しい人にふさわしい。琴を奏でて主に感謝をささげ、十弦の琴を奏でてほめ歌をうたえ。新し歌を主に向かってうたい、美しい調べと共に喜びの叫びをあげよ。 誌編 第33章 1-3節

## 第一例会の欠席は当月のアウト（早川）に必ず連絡すること

### 1998年12月例会のご案内

#### ◎第一例会

#### クリスマス例会

とき：12月13日（日）  
ところ：ナディアパーク 8階  
レストラン LUCCA  
名古屋市中区栄3の18の1  
tel / (052) 249-2717  
受付開始 / 16:30  
クリスマス例会 / 17:00～19:00  
大人：¥5,000 中・高¥2,000 以下無料  
プレゼント交換：ひとり1,000円程度の品物をご持参ください

#### ◎第二例会 忘年会

とき：12月22日（火）19時より  
ところ：うた酒場三枝  
tel / (052) 503-5263  
会費：¥5,000

#### ◎第6回ファミリースキー

1998年1月9～10日（土・日）  
長野県信州北アルプス山麓  
白馬爺が岳スキー場  
宿泊：マルハン爺岳ロッジ  
TEL：0261-22-8453  
担当：吉田 正

#### ◎新年第一例会 オークション

とき：1999年1月12日（火）  
オークション用の品物をご用意ください

## 第一例会報告 「校長先生奮闘記」

11月は元東海ワイズメンズクラブの会長もされ現在名古屋市立白山中学校校長をされております山本 徹氏をお招きしまして、長い教職生活の苦労話をわかりやすくお話くださいました。特に白山中学は私の時代（約30年前）より名古屋ではあまり評判のよくない中学として有名でありその校長をなさっているのが今の中学

校の問題等も赤裸に語っていただきました。しかし、そんななかでも一生懸命頑張っている生徒達の話が印象深く心に残りました。

先生は公務員で夏休みもありがたいへん楽な職業と一般的におもわれがちであります。先生の話のなかで、校長先生をなさった方の寿命の短さからもその責任の重さと心痛の大きさを感ぜられ、楽な先生も一部にはいるようですがたいへんなま

1998年11月30日

Nagaya GRAMPUS

大切な職業と考えさせられました。

最後に先生よりいただきました「当世若者ことば」をさっそく会社に帰り新入社員に知ったかぶりをしましたところそんなのもう古く「超ダサでホワイトキック」だそうです。今の若者たちの流行も日進月歩で我々の仕事同様たえず情報収集だなど・・・

P.S 私達が中学時代は井川君も得意なアイススケートがたいへんさかんでありましたが、最近ではスケートをやられる若者がたいへんすくなく我々がよく行った野外スケートリンクがなくなっているさびしいことです。井川君のためにも一度スケートプログラムを・・・

坂口 功祐



11月1日 '98バザーは好天に恵まれ、服部委員長の超カッコE☆テープカットに始まり大勢の方に楽しんで頂くことができました。今年のグランバスは、例年大好評のラーメン200食、ゲーム(トイレットペーパー崩し、吸盤ボールのピンゴ)、物販の方は川辺株式会社様よりご寄付頂いたステキなブランドスカーフを販売しました。私は昨年までもつばら小4・紗夜子のお供で会場内をウロウロお客さんに癒しておりました。おかげ様でよいお買い物ことができましたが、スタッフのご苦労など隠れず・・・今回紗夜子の友達を二人お誘いしたので、初めてチョッピリだけお手伝いさせて頂きました。会場のゲームコーナーでははじめ、窓を開けているとボール落下の恐れがあり、ブラインドの心配もあり、急遽 窓は閉められ白幕が張られました。入り口モーケ所で熱気ムンムン。でもそれが原因ではなく実は、新婚さん♡の

ハッピーなご報告のせいだったのでした。

“道子さん「W」でおめでとうございました。”祝福のお客様多数でありました。(何といってもこれが今回のバザーの“トップニュース”なのでした。)ステキな旦那様もご紹介頂き、良かったワアというのが本音です。女性陣はスカーフの担当でした。300円のミニ判からティオール、サンローランなどのブランド品、ベストもありました。お先に失礼してしまったので売上はいかがだったでしょう。きっと良いお買い物された方がまた来年足を運んでくださることでしょう。ラーメンの方も最初“ねんりん”には勝てずで出足が悪かったようで、スタッフが一、二人と“紺さん”で出かけましたが午後一時頃には完売しました。来年はわたしも存心して“どて”が食べたいです。おみやげに買って帰ったのに・・・

いつも早々に失礼して申し訳ありません。館内は館内を隅々まで楽しんでようてバルーンアート、人形キーホルダーをおみやげにご機嫌で帰る。ラーメンが“ベリうま”だったそうです。服部ファミリーはじめ担当の早川ご夫妻、スタッフの皆様お疲れ様でした。あすかちゃんがポスターで奮闘してたのに関心しました。それと今年はハッピーなご報告があり必要なかつたのですが来年は何かBGMでも流してはいかがでしょうか？ハードな子守歌(?)でもいいかもネ。なんちゃって失礼しました。

皆様お風邪召されませんよーに。

とよたの(み)おばさんより



## 「ロマンチックな秋にふさわしく ロマンチックなご案内」を頂いて、 加藤道子さんの結婚式と祝う会に 出席して

10月30日、快晴の午後、本当に雲ひとつ無い青い秋の空でした。グランパスの仲間たちはこころワクワク、少しドキドキ、気持ちソワソワ、南山教会へと向かいました。丘の上の教会は南里隆さんと加藤道子

さんの結婚式にふさわしい所でした。前日まで誰がエスコートするのだろうか、という期待と不安を持って臨んだのですが、カトリックの司祭さんを先頭に新郎新婦が一列に列んで入場してきたときにはなぜか「ホッ」としたのです。(なぜでしょう)上がりもせず、ふるえもせず堂々としていました。かえって司祭さんのほうが上がっていたのかもしれない。

式そのものは20分位。讚美歌も聖歌もなく簡素なくらいで、あっと言う間でした。誓いの言葉、ベールを上げる、とキリスト教の式順どおりですが、キスひとつなし。ボクが司式するときは勿論キスはありませんが、ひとの式を見ている時はキスがあっても良いなあ、なんておもってしまいました。

式の中で婚姻届に署名するところがありました。さすがカトリック。式だけはして新戸籍は作らないなどということはさ



せないんですね。よかった、よかった!

このようにして無事、式は了りました。私はサッと帰ろうとしたのですが、全員で集合写真を撮ります、ということで残りました。またこの写真屋さんが慎重屋さんといふのか、のんびり屋さんといふのかずいぶんと時間がかかりました。

良い写真ができただろうと思います。

さて10日後、11月7日にキャプテンダイナーでお祝いの会が開かれました。

これまた、和気あいあい、楽しい会でした。お二人さんそっちのけ、ではないのですがさっぱり司会者の声も聞こえずそれぞれのテーブルで楽しい会話もたれました。私はグランパスの新人ですので他のクラブの方々、また

なんり南里さんの関係の方々は分かりませんので、ひたすら一つのテーブルにしがみついで、食べる、飲むのくり返しをしていました。楽しいことは良いことです(百人位か、それ以上か皆目見当がつかないくらいの方々でした。お二人が祝福されて、みんな嬉しそうで、よかった、よかった!というのがいつわらざる感想です。ただ、どんな人たち、グループがいたのかさっぱり分かりませんでした。新しいお友達ができなかったのが残念でした。

田中 徹夫

## イギリス通信No.3

10月の例会では皆さんにお目にかかることが出来大変うれしく思いました、クラブが何か次の変化を求めて動き出した印象を受け、チャーターした頃やあの日本区大会など思い出して年寄りじみた感慨にふけるまもなく、道子さんの突然のご成婚、それではついでにとトシアキさんの結婚事後報告、留めは道子さん御懐妊これぞまさにグランパスの面目躍如と妙に安心したと言ってはお叱りを受けるかもしれません。

次期部長が結婚はたまた懐妊などという事は誰も夢にも思わなかった、ご本人も含めて?、(道子さんすみません) 事であり当然ワイズとしても歴史始まって以来の事でしょう。これにどう対処するか今クラブでは協議されている事と思います。考えてみますと女性の社会参加と言う事が言われています、であればこのような事も起きて不思議は無いとも言えるでしょう。日本にいないと本当に申し訳ありませんが、状況が変わったときに何が自分としてできるか自分の問題として捉えて自らの役割を見つけ行動、協力していく事がボランティアの原点です、前例のないことに挑戦しつづけてきた賢明なる吾がグランパスの皆さんが必ずや次の良い方向への道みつけて進む事ができるものと確信しています。もちろん出来る事は余りないかもしれませんが私もお役に立つことができましたらお知らせください。

さて、10月27日に会社の先輩、同僚の見送りを受けて漸く正式赴任の旅に出ました。今までの出張のときとは少し違った出発でした。今年これで5回目の訪英、自ら仕掛けた仕事とはいえよくぞここまでと言うのが正直なところに実感です。

とにかく先ずは住むところの確保が第

一と考えていましたが、到着初日に適当な物件があると言う事で下見に行き即決する事が出来ました。

寝室4、居間2(一つはサンルーム付き)、キッチンと食堂、家具、食器、電化製品、調理器具など全て完備された大変きれいな家です。庭にはブランコや、滑り台もあり小さいながら子供用の遊び部屋も建っています、芝生の庭の広さもかなりあります。

ここまでではオーベリーナイスと本当に申し分のない家ですし、会社への通勤も車で15分位と大変便利です

ところが世の中そんなに甘くないもので、場所は日本の感覚で言えば大田舎の村はずれと言ったところでしょうか。一マイルほど行ったところが村の中心で英国に不可欠なパブがあり日用雑貨品のよろづやもある典型的なイングランドのカントリーサイドです。周りは牧場や森に囲まれて自然が一杯で春夏には素晴らしいところではないかと思えます。そうですこの家は都会のひとが休暇で来て滞在する為の貸し別荘なのです。ここサマセット地方は英国でもサマーハウスが多いリゾート地なのです。

これから始まる冬の寂しさに絶えられかが当面の課題です。冬は欧州への航空運賃も格安です宿泊費無料、貴方もカントリーライフをいかが??

